

水稻新品種「ヨカミノリ」

誌名	農業技術
ISSN	03888479
著者	西山, 壽
巻/号	43巻9号
掲載ページ	p. 420-420
発行年月	1988年9月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



研究通報

水稻新品種「ヨカミノリ」

西山 壽

登録番号：水稲農林 292 号（系統名：西海 172 号，昭和 63 年 5 月命名） 交配組合せ：西海 144 号（後のヤマチカラ）/あそみのり（昭和 52 年交配） 奨励品種採用県：福岡県，佐賀県

特性の概要 本品種は「あそみのり」に比べ稈長，穂長はやや短く，穂数は多い偏穂数型の稈種である。止葉は直立し草姿，熟色は良い。粒着密度は中，無芒で，ふ先色は黄白，脱粒性は難である。玄米は「あそみのり」に比べやや短く中形中粒。腹白，心白の発生はごく少なく，光沢は大で，外観品質は「あそみのり」「碧風」より勝り良質である。搗精歩合は「あそみのり」並の普通。食味は「日本晴」「あそみのり」並に良い。

出穂期，成熟期は「あそみのり」「碧風」よりやや遅

そみのり」「碧風」と同程度で，肥沃地では「あそみのり」にまさる。

適地及び栽培上の注意 暖地北部及び温暖地西部の平坦肥沃地に適する。筑後川をはさむ筑紫平野の肥沃地で福岡県では「あそみのり」「碧風」「ニシホマレ」等を対照に約 2,000ha，佐賀県では「ニシヒカリ」「碧風」「ニシホマレ」「ミナミニシキ」等を対照に約 3,500ha の普及が見込まれる。

栽培上の注意事項は，①山麓地や低地力地では生育不足で能力を発揮できないので，栽培は控える，②いもち病に対しては真性抵抗性遺伝子 P_i-ta^2 をもつので，この遺伝子を犯す菌系が発生しない段階では発病しないが，

圃場抵抗性はやや弱いので侵害菌系の発生による発病に十分注意し，適期防除に努める，③縞葉枯病には罹病性のため適期防除に留意する。

命名の由来：北部九州平坦肥沃地に適応する良質安定の良か（北部九州の方言・良い）品種である（良稔）。

育成後記 現在，福岡，佐賀

両県の平坦肥沃地では中晩生・晩生種の作付が多く，刈り遅れによる品質食味の低下が問題となっている。中晩生の「ニシホマレ」「ニシヒカリ」，晩生の「ミナミニシキ」等は流通上の評価が劣り，佐賀県のヒヨクモチも品質低下がみられる。このため刈り遅れの回避や共同乾燥施設の有効利用の面から，平坦肥沃地向きの強稈，良質良食味の中生品種の導入が強く要望されている。「ヨカミノリ」はこれらの要望に応え，両県平坦肥沃地の良質米の安定生産に貢献することを期待している。

育成従事者：渡辺進二，小野敏忠，西山 壽，本村弘美，滝田 正，井辺時雄，志村英二，赤間芳洋

（九州農業試験場作物第一部作物第 1 研究室長）

第 1 表 ヨカミノリの諸特性

調査地	品 種 名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	倒伏 (0~9)	玄米重 (kg/a)	玄 米 千粒重 (g)	品質
九 州 農 試	ヨカミノリ	8.29	10.18	77	19.6	401	0.4	56.4(57.3)	22.3	上下
	あそみのり	8.27	10.17	80	20.7	382	2.4	54.9(53.8)	23.6	中中
福 岡 農 試	ヨカミノリ	8.29	10.18	78	19.5	366	0	51.4(56.8)	22.8	上中
	あそみのり	8.28	10.17	80	20.3	377	0.3	53.8(54.6)	24.3	中上
佐 賀 農 試	ヨカミノリ	8.26	10.15	75	20.4	374	0.4	55.6(54.6)	23.0	上下
	標 風	8.25	10.13	75	19.6	353	0.5	55.5(55.5)	22.0	中上

注) 標準栽培による。玄米重の () は多肥栽培

九州農試：昭和 57~62 年平均，福岡・佐賀農試：昭和 59~62 年平均

く中生の中に属し，耐倒伏性は「あそみのり」より勝り強である。いもち病抵抗性遺伝子型は P_i-ta^2 と P_i-a をもつと推定され，葉いもち圃場抵抗性は同一遺伝子型の「レイハウ」と同程度のやや弱，白葉枯病に対しては

第 2 表 ヨカミノリの食味官能検査
(九州農試)

品 種 名	総 合 評 価			
	昭和 58	59	61	62
ヨカミノリ	-0.04	-0.02	0.20	0.17
あそみのり	0	0		0.08
日 本 晴			0	0

注) 各生産年次とも 1 月または 2 月，24 名で 2~3 回実施。

I 群菌に抵抗性を示し，圃場抵抗性は「あそみのり」よりやや弱く「コガネマサリ」よりやや強く，縞葉枯病には罹病性である。収量性は「あ

Hisashi NISHIYAMA: A New Paddy Rice Variety "Yokaminori". 農業技術 43 (9), 1988.